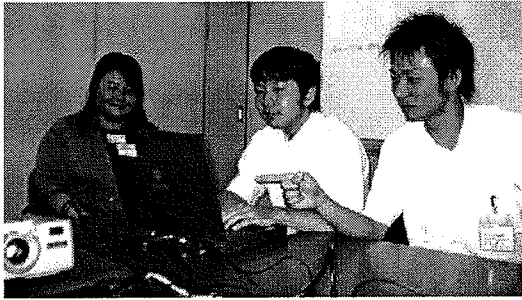


2006年度インターンシップ実習生の体験談 その2



<後半日程>
期間:8月21日(月)~9月1日(金)
平日10日間
時間:8:45~17:30
実習先:(株)富士通ワイエフシー
地域または医療ビジネス(事)
実習生:3大学より3名

③水谷 淳 さん コンピュータサイエンス学部3年次 <実習先:医療ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は?

実習を通して就業意識を高めると共に、自分にとってプラスになるように取り組む。

Q2.当社を選んだのは?

システム系の仕事に興味があり、御社はSE職に興味ある人材を募集していた。

Q3.課題は達成できましたか? (できた点、不十分な点)

短い期間ではあったが実際の仕事をまかせられたことで、SE職とはどのようなものか、仕事1つ1つの責任の重さを学ぶことができた。就職意識を高めることはできたと思う。提案するといった積極性には欠けていたと感じる。

Q4.実習を通しての具体的な成果は?

仕事をまかせられたことで、1つ1つの作業を正確に行おうとする姿勢が身についたと思う。また、社会に出てから自分に足りないものが見えたと感じた。プログラムやワード、エクセル等のスキルからビジネスマナー、そして1社会人としての責任感を学び身につけることが、自分にとって大きなプラスとなることに気づいた。

Q5.当社をどのように理解しましたか?

今回は医療ビジネス事業部にお世話になって医療システムについて理解できた。医療システムの開発、運用、管理を行い常に責任をもちながら皆さん仕事をうけもっていると感じた。また、社長の話から新しい事にチャレンジしようとする企業で、保守的ではないと感じた。

⑤石谷健人さん 工学部3年次 <実習先:地域ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は?

将来SEなど情報系の仕事に就職したいと思っています。なので実際にその仕事を体験し、内容を理解したいと思います。またビジネスマナーなども学び今後の就職にも活用したい。

Q2.当社を選んだのは?

御社のホームページを拝見してお客様に対する考え方を知った。世界一を目指している。

Q3.課題は達成できましたか? (できた点、不十分な点)

今後の学生生活の課題は発見しました。またビジネスマナーや名刺交換も多くの人と実践しました。ちゃんとした報告書が提出できませんでした。

Q4.実習を通しての具体的成果は？

SEという、自分がなりたい仕事がいかに大変でいかに面白い仕事か解りました。また、社会人としてのしっかりとした考え方が頭の中にできました。

Q5.当社をどのように理解しましたか？

職場の方々はとても優しく、またお客様との繋がりや、同じ会社の人達との繋がりなど、人と人の繋がりを大切にすることが多いと思いました。

⑥中村早希さん 情報工学部3年次 <実習先:地域ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は？

研修を通して社会人としての在り方を学ぶ。学校生活では学べない多くのことを吸収したい。

Q2.当社を選んだのは？

御社のホームページを拝見させていただき、インターンシップに対しての取り組みがしっかりしていると感じた。

Q3.課題は達成できましたか？（できた点、不十分な点）

社会人としての心構え、意識の仕方を学んだ。実際にやってみないと分からない点もあった。

Q4.実習を通しての具体的成果は？

具体的に覚えたことはFLASH作成の方法と営業の仕事のごく一部である。しかし目に見えない形でたくさんのことを教えていただいた。二週間前はビクビクしながら会社に入ってきたことがずいぶん昔のころの様に感じる。社会人と学生とは随分隔たりがある様に感じていたが、私も一年半後には社会人として生きていくことになる。その時には会社の一員として誇りを忘れずお客様のために仕事をしていける様になりたい。明確な目標を定められる様になった。

Q5.当社をどのように理解しましたか？

2日目に社内会議に出席させてもらった。その時発表された出席者の言葉は、YFCは反応がうすい、行動を起すまで遅い。とのことだった。私が知れたのは会社の一部であるが、その様な面は見られなかった。この言葉から感じられたのはYFCが慎重に行動を起す会社であることと、厳しいことをはっきり言うてくださるお客様がいらっしゃるということだ。

実行するリスクより実行しないリスクの方が怖いというのは講演した㈱ネットフォレストの高橋社長の言葉で、リスクを考えなさすぎるのは挑戦ではなく無謀であると言う。

どこからが挑戦なのか私には分からないが、果敢に挑戦して何よりもお客様を大切にする姿勢を大事にしてほしいと思った。